

学校経営方針等について

校長 木村 政和

1 基本方針

平成20・21年度の2年間、八戸市教育委員会の「地域密着型教育推進事業」モデル校となり、保護者や地域住民との協働の学校運営に取り組んできた。本市では、平成25年度から「地域密着型教育」がスタートし、その後、令和6年度から、これまでの実績を基盤としてコミュニティ・スクールを推進することとなった。

本校はこれまでの実践を通して得た成果と課題をもとに、PTAの諸活動と連動させ、学校・家庭・地域それぞれが持っている教育力を学校運営に生かし、地域ぐるみの教育活動を充実させていきたい。このように、「地域とともにある学校づくり」を通して、ふるさとへの誇りと愛着を育み、地域に信頼される学校、地域に貢献できる学校づくりを実現していく。

2 教育目標

◇ 綱 領 「自律・自啓」 「誠実・勤勉」 「和協・責任」

◇ 教育目標

- 一中頑張りの精神をもち
- ① 進んで学習に励む生徒 (知)
 - ② 温かい心で協力する生徒 (徳)
 - ③ 心身を鍛え抜く生徒 (体)

◇ 努力目標

- ①基礎学力の確実な定着と確かな学力の保証に努める。 【確かな学力の保証】
- ②生命尊重を基盤にした豊かな心の育成に努める。 【豊かな心の育成】
- ③基本的な生活態度の習慣化と個に応じた生徒指導に努める。【個に応じた生徒指導】

3 めざす学校像（生徒像・教師像）

(1) 共に高め合い・学び合う学校

- ① お互いの良さを認め合い、力を合わせて高め合い・学び合う生徒のいる学校
- ② 生徒理解や指導方法の研修に励み、互いに切磋琢磨する教師集団のいる学校

(2) 明るく活力のある学校

- ① 自主性に富み、学習や諸活動に生き生きと取り組む生徒のいる学校
- ② 生徒と共に学び、共に活動する活力ある教師のいる学校

(3) 保護者や地域の人々に信頼される学校

- ① ふるさとを愛し、地域の人たちにもさわやかなあいさつができ、地域に貢献できる生徒のいる学校
- ② 保護者や地域の人たちと心を通い合わせ、共に行動できる教師のいる学校

4 めざす学校像達成のための具体的施策

(1) 授業力向上と確かな学力の保証

- ① 校内研修を充実させ、「授業改善」と「職員の同僚性の育成」に努める。
- ② 家庭とも協力して、学ぶ習慣を身に付けさせる指導に努める。
- ③ 教科や学年の枠を超えた研修で、主体的に学ぶ姿勢の醸成に努める。

(2) 生徒の心を育む教育活動（さわやか三本柱）

- ① あいさつ……来客者へのあいさつや地域でのあいさつなど時と場に応じた「さわやかあいさつ」に努める。
- ② 清掃……自分の心を磨く「さわやか清掃」に努める。
- ③ 合唱……学級や学年の絆を深め、豊かな心を育む「さわやか合唱」に努める。

(3) 地域や保護者から信頼される学校運営

- ① 地域を自分たちの手でより良いものにしようという意識の醸成に努める。
- ② 学校・PTA等の連携を一層密にし、協働の学校運営に努める。
- ③ 地域における学校の果たす役割を常に意識し、開かれた学校づくりに努める。

5 学校目標

「夢や目標に向かい、向上心をもって挑戦する生徒の育成」

(1) 重点施策

- ① 「わかった！できた！身についた！」が実感できる授業づくりに取り組み、一人一人の夢や希望の実現に向けた「確かな学力の保証」に努める。
- ② 全ての教育活動を通じて、自己指導能力（自己存在感、共感的な人間関係、自己決定の場、安全・安心な風土の醸成）を身に付ける場面を意図的に設定し、安心して力量を発揮できる環境づくりに努める。
- ③ 将来の夢や希望をもたせるキャリア教育の視点に立ち、自分らしい生き方を創り出す力を育ませる教育活動に努める。（行事・体験活動等）